

天水中学校だより

文責：杉野 晃一

R6教育スローガン 夢・笑顔(自律と協働の育成)

集団宿泊活動を通して、仲間として一步深まったようです。

6月5日(水)～6日(木)にかけて、1年生は、集団宿泊活動として県立天草青年の家に行きました。ペーロン船、ナイトハイク、焼杉製作、ピザ作り等々、さまざまな楽しい体験ができた2日間だったようです。「いっしょに」歩いたり、調理したり、見たり、考えたり、食べたり、話し合ったり、寝たりすることを通して、仲間として一步深まったようです。



天水未来塾！今回参加できなかった人は、ぜひとも、次回の参加を！

中間テスト期間中(6月7日から11日)の放課後、多目的ホールでテスト範囲の分からないところを先生方に質問できる3日間。それが、天水未来塾です。多くの生徒が、お互い刺激し合って勉強していました。粘り強く質問する生徒、そして、分かるまで粘り強く関わってらっしゃった先生方の姿がいいなあと思いました。



中体連を通して感じたこと

「私は、小学校4年生から、中学校、高校と剣道部員として部活動を続けていましたが、こうやって中体連の熱戦を観ていると、自分が剣道部員として経験したことは、かなり自分のためになったんだろうなあ。」としみじみ感じました。今年は、会場長としての仕事を中心に、男子バレー、サッカー、野球、女子バレー、ソフトテニスを観戦しました。勝ち負けはそれぞれですが、いろいろな競技を見て印象に残ったのは、選手同士の「関わり合い」です。得点を決めたチームメイトに笑顔で大きな声を掛けたり、拍手を送ったり、ハイタッチをしたり。逆にミスしても、同じように笑顔で声を掛けながら、腕や肩をギュッと握って励ましていました。また、あるチームは、劣勢に立った時、キャプテンらしき子が、「絶対大丈夫！今までやってきたんだから。声出し合って点返すぞ。」と、周囲の人の視線など全く気にせず、必死に一人一人に声かけていました。私は、部活動やクラブチーム等を通じて、こういう「関わり合い」ができるようになることが、3年間でのいちばんの財産になるのではないかと思います。覚えていませんが、恐らく私自身も剣道部員でいた時、こういうかけがえのない貴重な場面をたくさん経験させていただいたのではないかと思います。勝ち負けとか戦績みたいなものは意外と覚えています。こういう目に見えない大切なことって憶えていないのかもかもしれません。中体連のいろいろな競技の生徒の姿から大切なものを学ばせていただきました。私は、今も週に1～2回のペースで細々と大人同士で剣道の稽古を積んでいます。もしかすると、学生の頃剣道部員としていただいた財産があるから続けたいと思うのかもしれない。

天水中ホームページも随時更新しています。こちらからどうぞ→

